

令和5年度 第2回 浅間小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年9月22日（金） 午後1時30分から午後3時15分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 北校舎2階パソコン室
- 3 出席委員 松原 紀彦、高橋 与人、伊藤 元之、押川 英仁、市原 美智恵、鈴木明子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 由紀
- 6 学 校 泉澤 伸広（校長）、土屋 里佳（教頭）、池野 紀子（教務主任 教育課程担当）、西尾 哲孝（CS担当職員）、大石 文穂（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 大石 文穂
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、前回の協議会での話し合いの通り、伊藤副会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) ICTを活用した授業について
- (2) 「やさしさいっぱい活動」について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち6人全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) ICTを活用した授業について

熟議に先立ち、委員は校内のICTを活用した授業を参観し、以下の通り意見交換をした。

- ・ どの学年の児童もタブレット操作に慣れており、日常的に使用していることがよく分かった。黒板の板書だけでなく、モニターの映像を見る授業は子供たちの学習の理解をより深めていると感じた。（伊藤委員）
- ・ 全員一律に同じことをするのではなく、個々のレベルに応じてタブレット学習の進捗を変えられるのは、子供たちのモチベーションの向上に繋がりが良いと思う。操作に不慣れだったり、進みがゆっくりだったりする子供へのフォローはどうしているのか。（高橋会長）
 - 授業で子供がうまく操作できない時は、ICT支援員がリアルタイムでフォローをしてくれる。また、日頃から情報担当職員が各学年にあったトレーニングを行い、ICTのスキルアップを図っているので、子供たちの抵抗感も減ってきている。（教頭）
- ・ 映像を見ることで、子供たちの経験の少なさをフォローできることは素晴らしいと感じた。（押川委員）
- ・ タブレットを使用することで、先生方の授業準備の負担が軽減でき、子供たちもより分かりやすく学習できるので、素晴らしい教材だと思う。（市原委員）
- ・ 子供たちは分からないことがあった時に、自分で何回もタブレットで確認できるので、とても便利だと感じた。

もしタブレットを壊してしまった時にはどうするのか。（鈴木委員）

- 故意に壊した、乱暴に扱って破損した場合には家庭で弁償してもらうこともあるが、不

可抗力での破損や故障は保険でカバーできる。(教頭)

- ・ 子供たちが当たり前のようにタブレットに触っている姿は、自分たちの子供の頃とは隔世の感があるが、楽しそうに授業を受けており、とても感心した。
しかし、先生と児童、子供たち同士などコミュニケーションをとることが必要な時は、タブレットでは難しいのではないかと。(松原委員)
→ 確かにタブレットの使用は授業内容によっては向き不向きがある。そのため、例えば、話し合いに生かせるよう意見を集計整理したり、皆で共有したりする時など、効果的に使える場面で積極的に使っている。使い分けをして学習効果を高められるよう、教員も日々試行錯誤している。(教頭)
- ・ 自分の子供も塾で早い時期からタブレットを使っているが、タブレットを家に持ち帰り、分からなかったことを何度も復習できるのが良いと感じている。使用の中で課題も出てくるだろうが、今後もよりよく使えるように生かしてほしい。(伊藤委員)

(2)「やさしさいっぱい活動」について

議長の指示により、教頭より活動目的、活動内容について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 子供たちの感情育成をフォローする素晴らしい活動だと感じた。コロナ禍後に待ち望んだ、ふれあいができる良い取り組みだ。(高橋会長)
- ・ 学校だけでなく、家庭でもコミュニケーションを取ることが大事だと思う。特に小学校の時期は、家庭でのふれあいが重要だ。(伊藤委員)
- ・ 自分の得意、不得意を知り、周りと一緒にコミュニケーション能力を伸ばせる。子供たち同士のよりよい人間関係づくりのための良い活動なので、今後も継続してほしい。(押川委員)
- ・ 相手の言葉を受け止めることはすごく良いことだと思う。家庭でも子供と接する機会の少ないお父さんなどには、ぜひ実践して欲しい活動内容だと感じた。(市原委員)
- ・ 中高生や大人にもおすすめる素晴らしい活動だと思う。(鈴木委員)
- ・ 学校での取り組みを家庭で生かすことが難しい場合もあり、もったいないと感じる。(松原委員)
- ・ このような素晴らしい活動内容が、どこまで家庭に伝わっているか不明。学校からの発信方法をもう少し検討した方がよいのではないかと。(伊藤委員)
- ・ 例えば、授業参観の時に短時間でもこうした活動を紹介するのも良いのではないかと。保護者にも興味を持って見てもらえると思う。(松原委員)
- ・ 相手を思いやった良いコミュニケーションを学ぶことで子供同士が相手を尊重し合えるようになると思う。それがいじめのないよい集団作りへつながるのではないかと考えている。家庭や地域と連携していくための良い意見をいただいた。今後も家庭と地域と連携して浅間の子たちを育てたい。(教頭)

その他連絡事項等

- ・ 次回開催日時について

司会から、第3回協議会は令和6年2月14日(水)午後1時30分から、南校舎2階会議室で開催する旨の連絡があった。

- ・ 第3回協議会の議長選出について

司会から、次回協議会の議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員より高橋会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。